

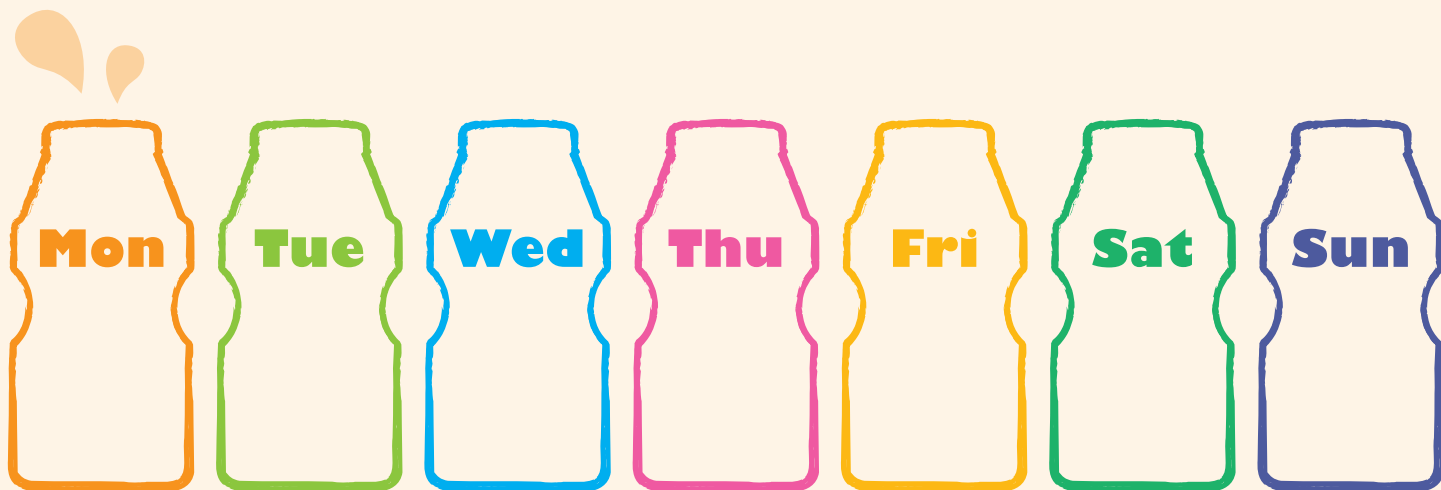
人も地球も健康に

**Yakult**

株式会社ヤクルト本社

第60期中間期 **株主通信**

平成23年4月1日 ~ 平成23年9月30日



**Yakult, Everyday !!**

**掲載内容**

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集「『安全・安心』で健康な生活をサポートする  
ヤクルトの取り組み」販売編
- 11 会社情報
- 13 コラム「血圧を下げるGABA  
～ヤクルトの乳酸菌でGABAをつくる～」

## ごあいさつ



代表取締役会長（CEO）

堀 澄也



代表取締役社長（COO）

根岸考成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成23年4月1日から平成23年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成23年12月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、  
世界の人々の健康で楽しい  
生活づくりに貢献します。

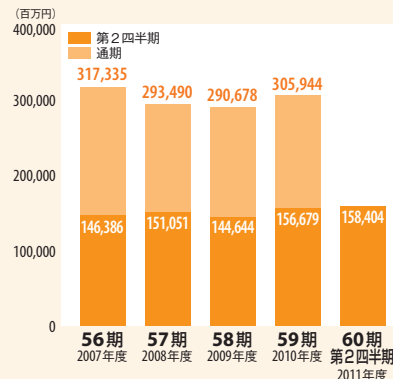
## 当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を依然として受けているものの、生産および輸出はサプライチェーンの復旧により持ち直しの動きが見られ、個人消費についても回復の兆しが見られます。しかしながら、企業収益の減少や雇用情勢の厳しさ、さらに電力供給の制限や為替・株価の変動などの景気下振れリスクが存在し、依然として先行きの不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。

## 連結業績ハイライト

### ● 売上高



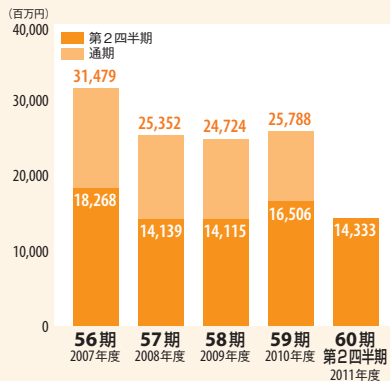
また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は158,404百万円（前年同期比1.1%増）となりま

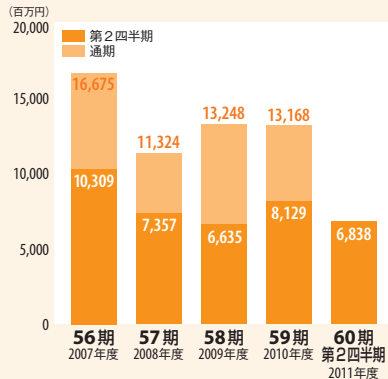
した。利益面においては、営業利益は11,337百万円（前年同期比14.7%減）、経常利益は14,333百万円（前年同期比13.2%減）、四半期純利益は6,838百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

	当第2四半期累計期間	通期の見通し
売上高	158,404 百万円（前年同期比 1.1%増）	317,000 百万円（前期比 3.6%増）
経常利益	14,333 百万円（前年同期比 13.2%減）	27,500 百万円（前期比 6.6%増）
四半期(当期)純利益	6,838 百万円（前年同期比 15.9%減）	14,000 百万円（前期比 6.3%増）

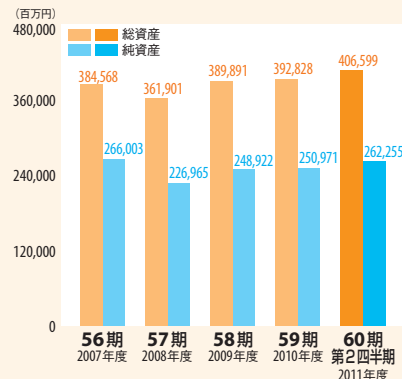
### ● 経常利益



### ● 四半期(当期)純利益



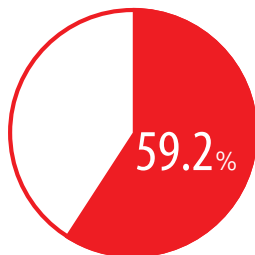
### ● 総資産／純資産



# Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

## 飲料および食品製造販売事業部門(日本)

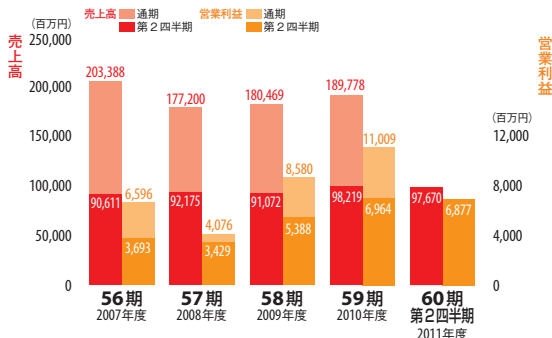


売上高構成比

### 当第2四半期連結累計期間

売上高  
97,670 百万円  
(前年同期比: 0.6% ↓)

営業利益  
6,877 百万円  
(前年同期比: 1.3% ↓)



日本国内における乳製品については、当社独自の「乳酸菌シロタ株」およびビフィズス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」の「価値普及」活動を展開しました。

宅配チャンネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」および飲むビフィズスヨーグルト「ミルミルS」を中心に、飲用体感促進型普及活動による継続愛飲者づくりに取り組みました。

店頭チャンネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲

料「ヤクルト」および飲むビフィズスヨーグルト「ミルミル」を中心に、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価値普及」活動を展開しました。

一方、ジュース・清涼飲料については、2年間発酵熟成させたつぼ造り黒酢を使用したプレミアムタイプの「熟成黒酢ドリンク」を宅配チャンネル専用商品として7月に数量限定で発売し、従来の「黒酢ドリンク」とあわせて、ピネガードリンクカテゴリーにおける売り上げ増大を図りました。

2011年  
NEWS  
&  
TOPICS

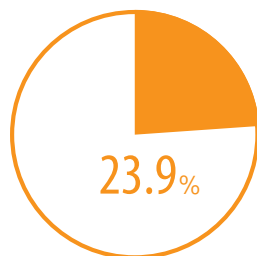
### 血圧が高めの方に適した特定保健用食品「プレティオ」をリニューアル

血圧が高めの方に適した特定保健用食品「プレティオ」をリニューアルし、1月16日から全国で発売します。2つの乳酸菌により当社独自の製造方法で産生した『γ-アミノ酪酸 (GABA)』を1本に10mg以上含み、血管収縮を誘引するノルアドレナリンの分泌を抑制することで血圧の降下が期待できます。「プレティオ」のコンセプトはそのままに、毎日飲み続けられるヨーグルト風味の爽やかなおいしさに仕上がっています。

▶ 詳細はコラム欄をご参照ください。



## 飲料および食品製造販売事業部門(海外)

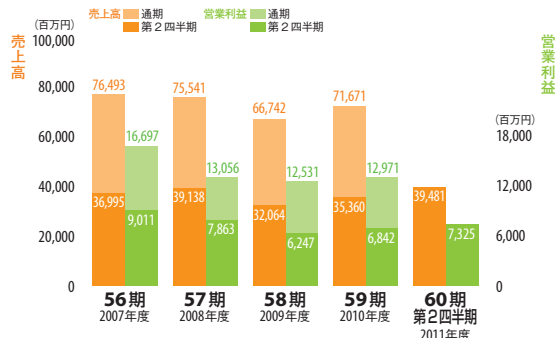


売上高構成比

## 当第2四半期連結累計期間

売上高  
39,481 百万円  
(前年同期比：11.7%▲)

営業利益  
7,325 百万円  
(前年同期比：7.1%▲)

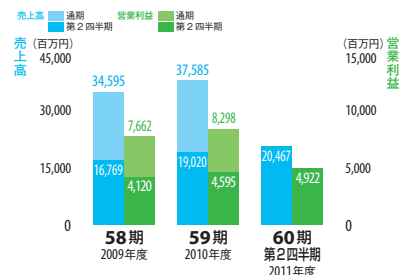


## 米州地域

売上高 20,467百万円 (前年同期比：7.6%▲)

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アルゼンチンおよび米国などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

米国においては、カリフォルニア州ファンテンバレー市で、米国初となる「ヤクルト」を生産する工場の建設準備を進めており、平成25年の生産開始を目指しています。

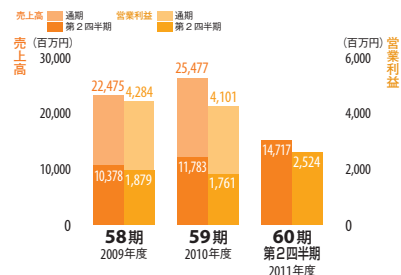


## アジア・オセアニア地域

売上高 14,717百万円 (前年同期比：24.9%▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

中国においては、中国ヤクルト株式会社の製造子会社である天津ヤクルト株式会社(天津工場)で、8月から「ヤクルト」の生産を開始しました。これにより、中国で3か所目の製造工場として、華北・東北地域へ「ヤクルト」の供給を行い、より迅速な市場の拡大を図っていきます。

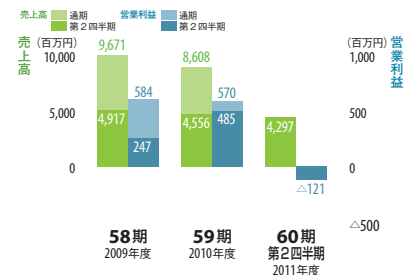


## ヨーロッパ地域

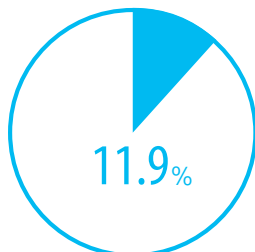
売上高 4,297百万円 (前年同期比：5.7%▼)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ヨーロッパのプロバイオティクス市場は依然として厳しい現地経済の影響を受けており、また、競合他社との激しい競争が続いています。



## 医薬品製造販売事業部門

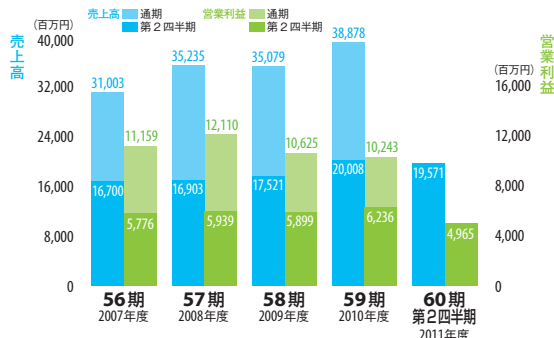


売上高構成比

### 当第2四半期連結累計期間

売上高  
19,571 百万円  
(前年同期比: 2.2% ↓)

営業利益  
4,965 百万円  
(前年同期比: 20.4% ↓)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用をさらに推進するため、医療関係者を対象とした講演会や説明会などを積極的に開催しました。また、がん化学療法剤「カンプト」および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」のシェア拡大、遺伝子組み換えG-CSF製剤「ノイアップ」の販路拡大に加え、8月には代謝拮抗性悪

性腫瘍剤「ゲムシタピンヤクルト」について、膵がんに対する「効果・効能」の追加承認を取得するなど、がん領域に特化した販売活動に力を注ぎ、売上げの増大を図りました。

海外においては、後発薬が発売されている「カンプト」について、市場シェアの維持回復に努めており、カンプト原薬の売上げが好調に推移しました。

2011年  
NEWS  
&  
TOPICS

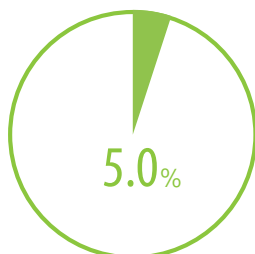


### グレードアップした「タフマン スーパー」を新発売

5月に「タフマン」発売30周年を記念してリニューアルしたタフマンブランドが、中高年男性を中心に好評を博しています。そこで、さらなる活性化を図るため「タフマン」シリーズに機能性、薬効イメージを強化した「タフマン スーパー」を10月11日新たに発売しました。「タフマン スーパー」は男性の摂取意向が高い高麗人參を1,000mg、認知度や効果の期待度が高いローヤルゼリーを100mg配合した「タフマン」のグレードアップ品です。



## その他事業部門



売上高構成比

### 当第2四半期連結累計期間

売上高

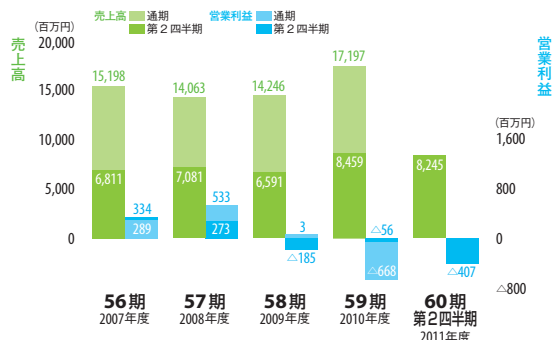
8,245 百万円

(前年同期比: 2.5% ↓)

営業利益

△407 百万円

(前年同期比: —)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、主カスキンケアブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィ ホワイト」の各シリーズを中心としたカウンセリング型訪問販売活動を展開しました。

また、7月には「ポッシュママ」シリーズから「リフレッシュシート」および「リフレッシュミスト」の2品を発売したほか、8月には仕上化粧品「グランティア」シリーズを「グ

ランティア EX」シリーズとしてフルモデルチェンジし、お客さま満足度の向上を図りました。

一方、プロ野球興行については、東京ヤクルトスワローズがファンの皆さまのご声援に応え、首位争いを繰り広げました。また、入場者数の増大を図るために、各種キャンペーンやイベントの実施、積極的なファンサービスや情報発信などを行いました。

### 乾燥による小ジワを目立たなくする 「エジティックス モイストリペア エッセンス」を新発売

**多**くの女性のお肌の悩みである、乾燥による小ジワを目立たなくするクリーム状美容液「エジティックス モイストリペア エッセンス」を11月1日より発売しました。お肌の細胞間脂質の構造によく似たラメラ粒子に、ハリと弾力をお肌に与えるピフィズ菌はっ酵エキスを内包。また、乳酸菌由来の成分である乳酸菌はっ酵エキス、高分子ヒアルロン酸、ハリと弾力にはたらきかけるセラキュート<sup>®</sup>も配合し、乾燥による小ジワを目立たなくし、しっとりとうるおうお肌へと導きます。



# Consolidated Financial Statements .....

## 第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第59期連結会計年度 平成23年3月31日現在	第60期第2四半期 平成23年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	182,830	193,254
固定資産	209,998	213,344
有形固定資産	133,717	135,360
無形固定資産	5,911	5,901
投資その他の資産	70,369	72,082
資産合計	392,828	406,599
<b>負債の部</b>		
流動負債	63,175	67,259
固定負債	78,681	77,084
負債合計	141,856	144,343
<b>純資産の部</b>		
株主資本	264,256	269,115
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,192	41,192
利益剰余金	200,996	205,934
自己株式	△9,050	△9,128
その他の包括利益累計額	△38,369	△34,827
その他有価証券評価差額金	△934	△405
為替換算調整勘定	△37,434	△34,422
少数株主持分	25,085	27,967
純資産合計	250,971	262,255
負債・純資産合計	392,828	406,599

## 第2四半期連結損益計算書

単位：百万円

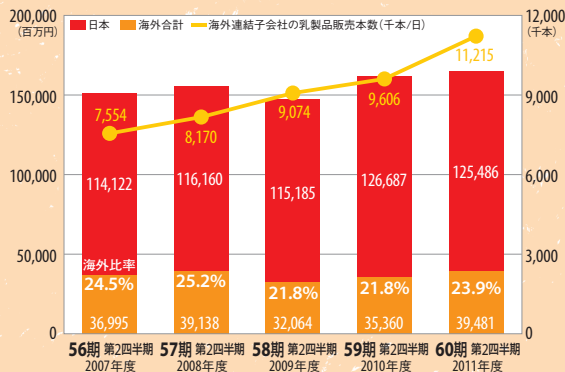
科目	第59期第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	第60期第2四半期累計 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	156,679	158,404
売上原価	70,781	72,041
売上総利益	85,898	86,362
販売費及び一般管理費	72,613	75,025
営業利益	13,285	11,337
営業外収益	3,959	3,830
受取利息	881	1,203
受取配当金	396	397
持分法による投資利益	1,679	1,239
その他	1,001	990
営業外費用	738	834
支払利息	417	335
その他	320	498
経常利益	16,506	14,333
特別利益	323	2,253
固定資産売却益	89	274
社会保険料還付額	—	1,497
その他	234	482
特別損失	3,102	2,865
固定資産売却損	291	81
固定資産除却損	198	212
投資有価証券評価損	1,399	1,584
災害による損失	—	913
資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額	614	—
その他	597	73
税金等調整前四半期純利益	13,727	13,722
法人税等	4,099	4,730
少数株主損益調整前四半期純利益	9,628	8,991
少数株主利益	1,499	2,153
四半期純利益	8,129	6,838



### 第60期第2四半期のポイント

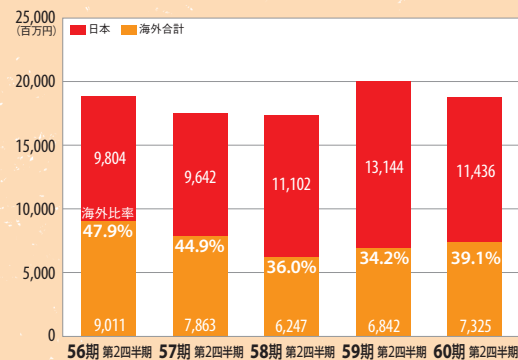
1. 国内飲料は震災等の影響で減収  
営業利益はほぼ横ばい
2. 海外飲料は増収・増益
3. 医薬品は研究開発投資等により減益

#### ▶ 売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

#### ▶ 営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

### 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第59期第2四半期累計	第60期第2四半期累計
	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	20,719	14,935
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,833	△16,007
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,956	△4,621
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,732	2,715
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△803	△2,978
現金及び現金同等物の期首残高	83,190	86,550
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	856	△172
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	36
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,243	83,436

#### キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益13,722百万円に加え、減価償却費があった一方で、売上債権およびたな卸資産の増加等があったことにより14,935百万円(前年同期比5,783百万円の収入減)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設、増設および更新による固定資産の取得があったことにより△16,007百万円(前年同期比3,173百万円の支出増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いおよびリース債務の返済等により△4,621百万円(前年同期比334百万円の支出減)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://ir.yakult.co.jp/>

ヤクルト IR情報

検索

## 「安全・安心」で健康な生活をサポートする

### 販売編

日本国内のみならず、多くの国と地域で飲み続けられているヤクルト。ここでは、1963年の導入以来、健康を「真心」込めてお届けするヤクルトレディについて紹介します。

### 健康を「真心」込めてお届け

全国の109の販売会社にある約2,600か所の「センター」を拠点に、現在約4万2,000人のヤクルトレディが活躍しています。ヤクルトレディによる宅配システムは、1963年に「家族の健康を守る主婦こそが、ヤクルトをお届けするのにふさわしい」と、地方の販売所が始めたのがきっかけでした。やがて「婦人販売店システム」として全国導入され、手から手へ健康を「真心」込めてお届けするという想いは現在まで引き継がれています。ヤクルトレディが毎日お届けしているのは、お客さまとのコミュニケーションを図り、プロバイオティクスの考え方をご理解のうえで、ヤクルト商品を購入していただきたいからです。地域のつながりが希薄になっているといわれる現代こそ、ヤクルトレディの訪問が生きると考え、日ごろから健康情報の提供や食生活のアド



バイスをするなどの役割を担うこともめざしています。

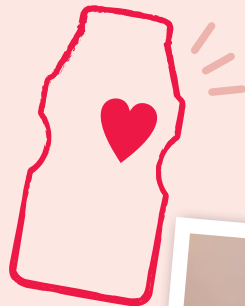
また、担当地域の中で毎日商品をお届けしているヤクルトレディは、地域の隅々まで目が届くことから、各地の警察と連携して、防犯パトロールなど地域の「安全・安心」強化へのお手伝いもしています。

### 岩手県に「ヤクルト容器を利用した合併処理浄化槽」を寄贈

東日本大震災の復興支援活動の一環として、岩手県の被災地域の仮設医療施設に対し、ヤクルト容器を利用した合併処理浄化槽を寄贈しました。ヤクルト容器を利用した水の浄化は、容器に棲みつく微生物の力を利用したもので、川や池の水浄化事業でも成果を上げています。



# ヤクルトの取り組み



## 38年も続く「愛の訪問活動」

「愛の訪問活動」は、ヤクルトレディが商品をお届けしながら、独り暮らしのお年寄りの安否を確認したり、話し相手になることを目的とした社会貢献活動です。この活動は、1972年に福島県郡山市のヤクルトレディが、独り暮らしのお年寄りが誰にも看取られずに亡くなったことに心を痛め、独り暮らしのお年寄りに自費で「ヤクルト」を配るという自発的な行為から始まりました。やがて活動の輪が広がり、現在、全国148の自治体からの要請を受け、約3,700人のヤクルトレディが4万6,000人を超えるお年寄りのお宅を訪問して



います。この訪問活動の中で、お年寄りを危険や急病から救ったことも数多くあり、1991年には経済広報センターから「優秀企業広報特別賞」を受賞、1994年には「ボランティア功労者」として厚生大臣（当時）から表彰されるなど、高い評価を受けています。

### ご存知でしたか？ ● 世界中で活躍するヤクルトレディ

海外においても約4万人のヤクルトレディが活躍しています。働く環境はさまざまですが、共通しているのは「笑顔とともに手から手へ」の想いです。ヤクルトレディは健康アドバイザーとして乳酸菌のチカラをお伝えしながら、多くの国と地域でヤクルトをお届けしています。



## 世界に広がるヤクルト

現在、海外28の事業所を中心に、日本を含む32の国と地域で、主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、世界中で毎日2,860万人の方々にご愛飲いただいています。

### 【海外事業所一覧 & 各地域のヤクルトの売上本数】



海外：2011年1月～6月の1日当たり平均本数  
日本：2011年4月～9月の1日当たり平均本数

#### EUROPE

- ▶国と地域：10
- ▶1日当たりの販売本数：71万本

#### ヨーロッパ地域

- ヨーロッパヤクルト株式会社
- オランダヤクルト販売株式会社
- ベルギーヤクルト販売株式会社
- イギリスヤクルト販売株式会社
- ドイツヤクルト販売株式会社
- オーストリアヤクルト販売株式会社
- イタリアヤクルト販売株式会社
- ヤクルト本社ヨーロッパ研究所※

#### THE AMERICAS

- ▶国と地域：7
- ▶1日当たりの販売本数：522万本

#### 米州地域

- ブラジルヤクルト商工株式会社
- メキシコヤクルト株式会社
- アルゼンチンヤクルト販売株式会社
- アメリカヤクルト株式会社

#### JAPAN

- ▶1日当たりの販売本数：875万本

#### ASIA AND OCEANIA

#### アジア・オセアニア地域

- ▶国と地域：14
- ▶1日当たりの販売本数：1,392万本



- 香港ヤクルト株式会社
- シンガポールヤクルト株式会社
- インドネシアヤクルト株式会社
- オーストラリアヤクルト株式会社
- マレーシアヤクルト株式会社
- ベトナムヤクルト株式会社
- インドヤクルト・ダノン株式会社
- 中国ヤクルト株式会社
- 広州ヤクルト株式会社
- 上海ヤクルト株式会社
- 北京ヤクルト販売株式会社
- 上海ヤクルト販売株式会社
- 天津ヤクルト株式会社
- 台湾ヤクルト株式会社※
- タイヤクルト株式会社※
- 韓国ヤクルト株式会社※
- フィリピンヤクルト株式会社※

※台湾ヤクルト株式会社、タイヤクルト株式会社、韓国ヤクルト株式会社、フィリピンヤクルト株式会社、ヤクルト本社ヨーロッパ研究所以外は連結子会社です。

## 会社概要

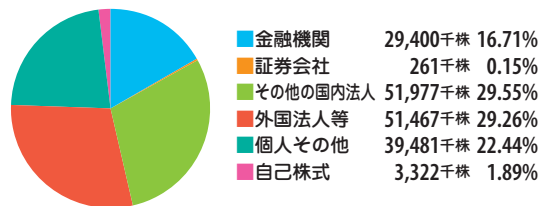
商号 株式会社ヤクルト本社  
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)  
設立 昭和30年4月9日  
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号  
電話 03(3574)8960(大代表)  
資本金 311億17百万円  
従業員 2,976人

(注)上記従業員数には、関係会社等への出向者298人および嘱託140人を含んでいます。

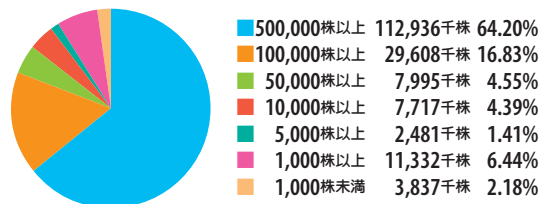
## 株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株  
発行済株式総数……………175,910,218株  
株主数……………32,348名

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況



## 役員

代表取締役会長	堀 澄也	取締役	クリスチャンノイ	常勤監査役	大坪 勝己
代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	ペトルランドホスレイ	常勤監査役	田中 竹義
取締役	川端 美博	取締役	リチャードホール	監査役	中村 輝夫
取締役	甲斐 千束	取締役	池上 昭二	監査役	奥平 哲彦
取締役	根岸 正広	取締役	竹村 雅行	監査役	角屋 良平
取締役	阪本 重善	取締役	荒木 敏博	監査役	池田 雅彦
取締役	安田 隆二	取締役	阿部 泰久	監査役	谷川 清十郎
取締役	福岡 政行				

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エムエルピーエフエス ノミニー・ダノン アジア ホールディングス プライベートリミテッド*	35,212	20.02
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口	4,957	2.82
共進会	4,217	2.40
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント プリティッシュ クライアント	3,055	1.74
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	2,823	1.61
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.40
日本生命保険相互会社	2,420	1.38
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

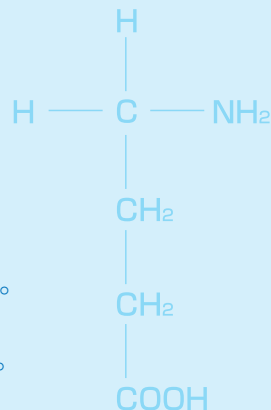
(注)共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会を会員とする持株会社です。  
上表のほか、当社は自己株式3,322千株を保有しています。



# 血圧を下げるGABA

## ～ヤクルトの乳酸菌でGABAをつくる～

高血圧症は、放置すると脳卒中や心筋梗塞につながる危険性が高い生活習慣病のひとつです。一方、血圧降下作用を有する、GABAと呼ばれる食品成分が注目されています。GABAを含有する「プレティオ」はヤクルトの乳酸菌で、乳から効率的にGABAをつくります。



### GABAとは…

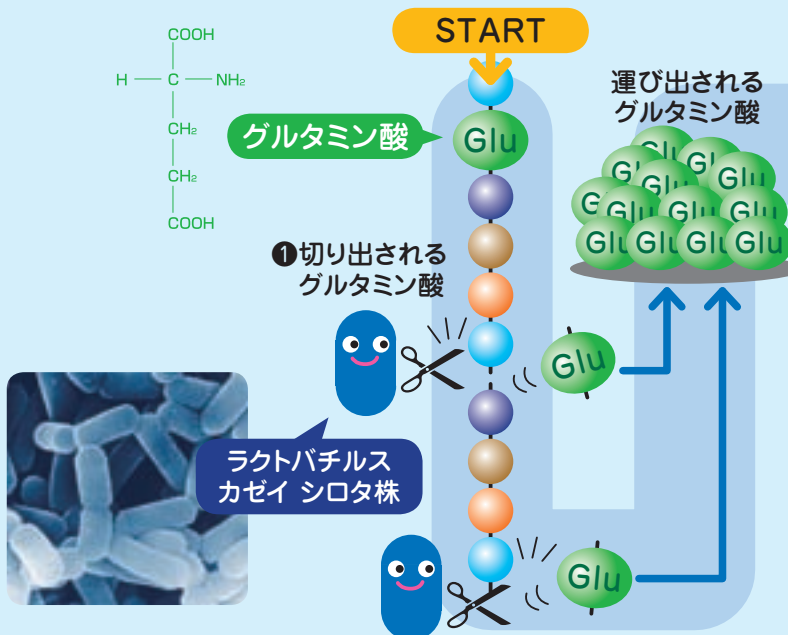
**GABA**は正式名称をγ(ガンマ)-アミノ酪酸といい、**Gamma-Amino Butyric Acid**の頭文字を取り、GABA(ギャバ)と略称されています。GABAは、穀類、野菜類、果実類等に含まれるアミノ酸の一種で、動物実験やヒト投与試験により、血圧降下作用のある機能性成分として知られています。



GABAの粉末

### ▶ 2種類の乳酸菌でGABAをつくる

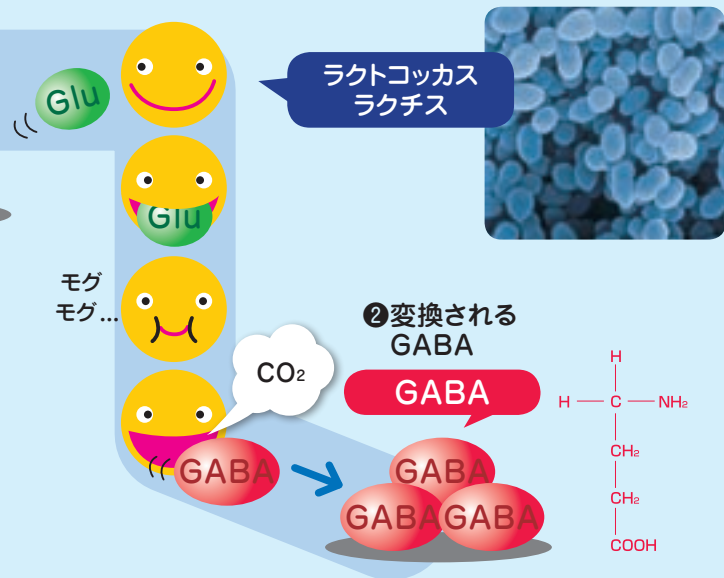
GABAはたんぱく質を構成するアミノ酸のひとつ「グルタミン酸」から酵素反応によって生成されます。当社では、乳たんぱく質の一種であるカゼインが「グルタミン酸」を多く含むことに着目し、まずカゼインから「グルタミン酸」を切



り出し、次いで「グルタミン酸」をGABAに変換するという製法を確立しました。この製法はヤクルトの特許です。

グルタミン酸を切り出す能力が高い菌として選ばれたのが「ヤクルト」や「ジョア」などに使用している乳酸桿菌ラクトバチルス カゼイ シロタ株。そして、GABAをつくる能力が高い乳酸球菌ラクトコッカス ラクチスが選ばれました。

この2つの菌を混合培養しGABAをつくるには、まず、ラクトバチルス カゼイ シロタ株の働き（酵素反応）で、原料となる「たんぱく質」から、「グルタミン酸」を切り出します。続いて、切り出された「グルタミン酸」は、ラクトコッカス ラクチスの働き（酵素反応）でGABAに変換されます。この方法で、牛乳のたんぱく質を、ラクトバチルス カゼイ シロタ株とラクトコッカス ラクチスで発酵させることにより、GABAを含有する「プレティオ」が製造できるのです。



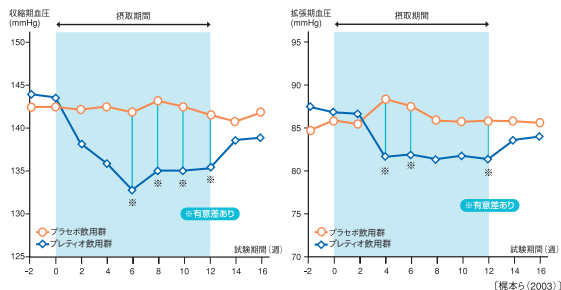
## GABAの血圧降下作用

GABAは摂取後、消化管から血中に移行し、血管を収縮させる働きのある物質(ノルアドレナリン)の分泌を抑制します。ノルアドレナリンは細動脈を収縮させる作用があるので、この分泌を抑制することで血管の収縮を緩和し、血圧を下げると考えられています。

血圧が高めの人86名を2つのグループに分け、一方には「プレティオ」(GABA10mg以上含有)を、他方にはGABAを含まないプラセボ(※)飲料を12週間に渡って飲用させた結果、「プレティオ」飲用群がプラセボ飲用群に比べて血圧が低下する効果が確認されました。

※プラセボとは、味や外見は同じで、有効成分を含まないものことです。本物とプラセボの2つのグループを比べることによって、効果の程度を科学的に測定できます。

### 【GABA飲料摂取による収縮期および拡張期血圧の推移】



## ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

## 株主優待

**当社商品の提供** ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年末滿)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を1品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を2品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

**東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供**

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

**株式に関する手続きについて** 株券電子化にともない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

**1. 未支払配当金のお支払い**

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

**2. 住所変更、単元未滿株式の買取請求、配当金受取方法の指定など**

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。

# Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表)

<http://www.yakult.co.jp/>

